

## 年金者 何でも相談

Q 来年4月から65歳以上の厚生年金受給者に在職時定時改定という制度が導入されると聞きましたが、どういう制度なのでしょうか。

A 老齢厚生年金（厚生年金保険）の支給額は受給者が在職中（厚生年金に加入中）は改定されず、退職時または70歳到達時に65歳以降の厚生年金加入期間分を加えて、年金額が改定されます。

来年の4月からはこの制度を改め、65歳以降在職して厚生年金に加入している場合は、毎年年金額が改定されるようになります。毎年9月1日を基準日として直近1年間の報酬額にもとづいて年金額が計算され、10月分から改定されます。給与が月20万円、ボーナスなしの場合、1年間に1万3000円程度（1カ月で1100円程度）の年金額の増加となります。

この方が70歳になると、引き続き在職中であっても、厚生年金の資格は喪失しますので、前回の定時改定から70歳到達までの期間分を含めて、70歳到達の翌月から年金額が改定されることとなります。

また、月給とボーナスの12分の1を加えた額（総報酬月額相当額）と老齢厚生年金（報酬比例部分）の月額を加えた額が47万円を超えると超えた額の2分の1が減額されますが、この在職老齢年金の支給停止額は定時改定増額後の年金額にもとづいて再計算されます。（月額10万円で1年間就労した場合の在職定時改定の効果—1年間に7000円程度の増額）（2021年10月15日）（年金相談室 小林 善雄）

## 年金者 何でも相談

Q 短時間労働者（パート）の厚生年金、健康保険への加入の範囲がまた広がるのですか。

A はい。来年の10月から実施されます

短時間労働者の人は1週の勤務時間が、その事業所で同種の業務を行う一般社員の所定労働時間の4分の3以上あること、および、1カ月の勤務日数が、その事業所で同種の業務を行う一般社員の所定労働日数の、4分の3以上である場合に被保険者（加入者）になります。

2016年10月からは、1週間の所定労働時間が、同一の事業所に使用される通常の労働者の1週間の所定労働時間の4分の3未満、又は1月間の所定労働日数が同一の事業所に使用される通常の労働者の1月間の所定労働日数の4分の3未満である短時間労働者に該当しても、次の①から⑤までのすべての要件に該当する人は厚生年金、健康保険に加入することになりました。

- ① 1週間の所定労働時間が20時間以上であること、
- ② その事業所に継続して1年以上使用されることが見込まれること、
- ③ 標準報酬月額（賃金月額）が8万8000円以上であること、
- ④ 学生（夜間、通信、定時制以外）でないこと、
- ⑤ 勤務先の従業員数が501以上であること。

来年の10月から、勤務先従業員数が101人以上の企業まで、2024年10月から51人以上の企業まで適用が拡大します。また、1年以上の勤務要件は撤廃され、2カ月超になります。（2021年11月15日）（年金相談室 小林 善雄）

### 中央本部・年金相談室から

\* 年金相談日は、毎週、火曜日と木曜日、午前11時から午後4時までです。  
電話・FAX・手紙・メールなどで、相談・意見・質問 何でもお寄せください。  
電話：03-5978-2751 FAX：03-5978-2777  
メール [honbu@nenkinsha-u.org](mailto:honbu@nenkinsha-u.org)